



日本モビリティ・マネジメント会議
ニュースレター

Vol.14 ● 2009.12.30

【発行】 一般社団法人 JCOMM
ニュースレター編集部
【お問合せ】 京都大学 藤井研
筑波大学 都市交通研
mail: jcomm@plan.cv.titech.ac.jp

MMIに関連する会告掲載希望やご意見等、
随時受け付けております。

平成二十一年も残りわずかとなり
ました。今年も、全国で様々なMM
が実施され、またMMでの取り組み
への認知が徐々に広がっているよう
に思います。来年以降もさらなる進展
を期待したいところです。

今号は、第五回JCOMMの開催
速報を中心にお届けします。

イベント案内

第五回JCOMM in 福山の案内

第五回JCOMMは二〇一〇年
七月三〇日(金)、三十一日(土)の日
程で、福山市 まなびの館ローブコ
ムにて開催されます。

福山城や鞆の浦などの名所が数多
くある福山市では、隣接する自治体
とともに、交通円滑化に向けた取り
組みを進めています。「ベスト運動」
として知られるこれらの取り組みが評
価され、平成二〇年度には
JCOMMマネジメント賞を受賞し



写真 福山城と山陽新幹線

ています。今年の二月には、中心市
街地の活性化を図るため市街地循
環路線バスを運行開始するなど、積
極的に交通施策に取り組んでいる地
域です。この機会に、福山市のMM
実施地域をご覧になつてはいかがでしょうか。
発表申し込み要領・締め切り等の
詳細は、一月下旬を目処に
JCOMMメンバーリングリスト、
WEBサイト等にてお知らせいたし
ます。多数の皆さまからのご参加
をお待ちしています。

発表投稿料について

会議の持続的な運営を見据え、次
回JCOMMより投稿料を設定す
る可能性を検討している旨お知らせ
してまいりましたが、前回JCOMM
でのアンケートにて皆様のご意見を
伺いましたところ有料化いたします
と投稿が困難になるとの声を多数
頂戴いたしました。ついでに、実行委
員会にて複数回審議を行いました結
果、次回JCOMMでの発表投稿料の
設定を見送ることといたしました。

なお、JCOMM法人の個人会
員・法人会員のメルिटとして発表
投稿料の免除をご連絡して参りま
したが、発表投稿料を設定しないこ
とを受け、会員メルिटについては今後
も検討して参ります。ご理解よろし
くお願いします。

イベント案内

平成二十二年JCOMM賞 候補募集について

他地域の模範となるような、効
果的なMMプロジェクトを表彰するJ
COMM賞の公募を、平成二十二年
度も行います。昨年度同様、マネ
ジメント賞、デザイン賞、技術賞、
プロジェクト賞と合わせて四つの部門

で公募・審査を行います。

応募要領や期日等は、一月下旬
までにJCOMMメンバーリングリストな
らびにWEBサイトでお知らせしま
す。自薦・他薦を問いませんので、
奮ってご応募ください。

【各賞の概要】

- マネジメント賞：秀逸、かつ継続
的なMMの取り組み
- デザイン賞：デザインの優れた
動機付け・地図などのMMキット
- 技術賞：新しいMM技術に関する
研究成果
- プロジェクト賞：新しい切り口のユ
ニークなMMプロジェクト

ご紹介

JCOMM・法人会員一覧

一般社団法人日本モビリティ・マ
ネジメント会議の趣旨にご賛同いた
だき、法人会員としてご登録いた
いた法人をご紹介します。ご登
録いただいた法人の皆様には、この
場を借りまして、改めて御礼申し
上げます。

- 社団法人 日本バス協会
- 社団法人 日本民営鉄道協会
- 社団法人 北海道開発技術センター
- 財団法人 計量計画研究所

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

株式会社 ケー・シー・エス

株式会社 交通システム研究所

株式会社 地域未来研究所

中央復建コンサルタンツ 株式会社

株式会社 データ企画

株式会社 ドーコン

株式会社 新日本コンサルタンツ

株式会社 日本能率協会総合研究所

パシフィックコンサルタンツ 株式会社

株式会社 福山コンサルタンツ

株式会社 まち創生研究所

株式会社 ライテック

(順不同)



MM用語解説

【動機付け情報】

誰でも何かの「理由」が無いと、行動
を変えることは有りません。その「理
由」となるのが「動機」で、それを促す
のが「動機付け情報」、例えば、MM実
務でよく使われている動機付け情報
は、「色々な環境に優しい行動の中
で、クルマ利用削減がダントツで一番
効果的」「クルマで通勤すると肥満に
なる危険が1.4〜1.5倍程度に
なります」というもの、これら以外に
も、出費や事故、地域モビリティ問題
などがあります。ただし、情報があま
りに多いとかえって効果が無くなるこ
とも知られており、3つ程度に抑え
るのが得策だと言われています。

ニッポンのMM
 第十一回
 福岡での
 買い物MM

「クルマ中心の生活」をしていると、「クルマでしか行けない場所」に行くことが多くなつてきます。このような場所への移動手段を転換するのは、容易ではありません。

今回ご紹介する買い物MMは、「クルマでしか行けない店舗」から、「徒歩や自転車で行ける店舗」に、目的地の変更を提案することを目的とした居住者対象のMMです。

福岡県朝倉市で二〇〇八年五月に実施されたこの買い物MMでは、市と大学が中心となつて、市街地の全世帯を対象とし、1) 動機付け冊子 2) 地域店舗の紹介冊子 3) コミュニケーションアンケートを配布しました(配布数:1590)。買い物行動は、交通行動と同様、習慣化して、社会的影響を見直す機会に乏しい行動です。動機付け冊子には、健康や環境といった個人に関する情報の他、買い物によつて生じる地域とのふれあい、普段の買い物地域経済に及ぼす影響など、買物が地域に与える影響についての情報と、「地域のお店で、徒歩や自転車でお買い物」を促すメッセージを掲載しました(写真)。地域店舗の

紹介冊子では、店主や商品などを紹介し、コミュニケーションアンケートでは、実際にどの店舗にどのように行くか想定してもらつた行動プランを掲載しました。

この買い物MMはワンショットでしたが、多くの参加者が「地域の店舗を現状よりも利用したい」と回答した他、実験参加者1回答者あたり地域店舗への訪問が0.93回/週増加した、という大きな効果が確認されました。この結果を受けて、市や商店組合では、地域活性化へ向けた継続的な議論をする機運が高まっています。

このように、移動手段の転換だけでなく移動も含めた「暮らし」を考へる視点を従来の居住者MMに取り入れることで、まちづくり施策や市街地活性化施策との親和性の高い、幅広いコミュニケーション施策の展開に繋がるものと期待されます。

(京大大学 鈴木春菜)

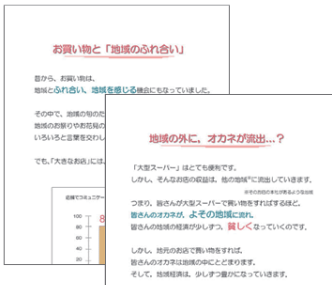


写真 動機付け冊子

ギリシア、アテネ市を訪れたとき、中心部で流しのタクシーをひろいました。目的地までの道の途中、信号待ちで停まっていると、歩道で手を上げた女性と、私が乗っているタクシーの運転手が二言、三言、言葉を交わしています。運転手さんの知人に偶然出くわしたのかな?と見ていると、その女性はドアを開け、助手席に座り、談笑しています(写真1)。

まちと交通 vol.10
 都市におけるタクシーの役割



写真1

た)による都市部での節度を欠いたタクシー車両の増加とそれに伴う運転手の労働環境の悪化、タクシーサービスの質の劣化が、2008年度の交通政策審議会で大きな話題となつたことが記憶に新しいのではないだろうか。那覇市と仙台市では、緊急対応が取られたほか、この問題を緩和・解消することを目指し、さまざまな側面に配慮しつつタクシー台数を調整する仕組みを導入する法案が提出されました。この問題は、節度なき自由競争は「神の手」による市場の均衡を導くどころか様々な社会問題を引き起こすこと、ならびに市場への適切な政府介入が時として重要であることを実証した例と言えるでしょう。

タクシー問題は、規制緩和(政府がタクシー台数の調整をやめ

域では、タクシーの役割は非常に大きいとも言えます。また、近年はこども110番タクシーで地域の治安維持に一役買っていたり、プロンプカーとして道路交通情報を提供する媒体ともなっています。MMの文脈からすると、様々な移動に対応可能なタクシーを適切に使うことは、マイカー依存からの脱却という意味では、推奨されてしかるべきものです。いずれにせよ、タクシー事業者やタクシードライバー、そして利用者それぞれが「節度を保つ」ことが必要とされているでしょう。「持続可能性」とは、すなわち「節度ある行動」なのかもしれません。

アテネの相乗りタクシーは、地域の習慣として根付いているようです。地域に根付いているということは、持続可能であり、何らかの「節度あるルール」が潜んでいるのではないのでしょうか。



写真2 アテネの街並み